

第4分科会

支援の必要な子ども達との活動からみえてきたもの

(2階 203研修室)

特別支援教育という言葉があります。さまざまな発達障害をはじめとし、周りの人たちの理解や支援の必要な子どもが増えてきています。何をどう理解し、どう行動していくかが大切ではないでしょうか。夢を持って活動しておられる方々との意見交換会です。



① **親の会発！ペットボトルピザ作りでユニバーサルなまちづくり** 14:10～14:40

伊藤 修二さん(益田市 益田市子どもとともに育つ親の会)

益田市子どもとともに育つ親の会は“ことばの教室”とともに活動しています。会員親子で夏休みには療育キャンプ、隔月でうどんやパスタ作り、ボーリング大会などしながら、悩みや楽しみを分かち合い、子育てをしています。

2004年度からはおやじの会が発足し、研修会と野外ケーキ作りやペットボトルピザ作りの出前講座を始めました。ピザ作りを親子で楽しみながら、言語障害や発達障害、まちづくりについて考える、始まったばかりの活動です。

② **特別な支援が必要な子ども達が必要としていること** 14:45～15:15

川谷 志津子さん(島根県 NPO法人ねお 代表)

特別な支援が必要な子ども達は、どんなことを日々願っているのでしょうか。一番の願いは、「友達がほしい」、「仲間がほしい」ということです。そんな子ども達の思いを、いろいろな人と力を合わせてかなえていくことが必要ではないでしょうか。地域の中にも、そんな思いを受け入れてくれる人がいるはず。こわがらず、親子で一歩踏み出してみませんか。

③ **ありのままの君が好きです** 15:20～15:50

田中 靖子さん(福岡県 障がいのある子もない子とともに演劇を！劇団きらきら代表)

近年、劇団「きらきら」も軽度の発達障がいを持った子ども達がどっと入団してくるようになりました。見た目でハンディの分からない彼らだけ、誰よりも手がかかる…。去年10月の本公演に向けての日々は、劇団「きらきら」史上一番大変でした。そんな彼らが、演劇の稽古と仲間達によって少しずつかわっていき、大成功を収めた公演までの様子をお話したいと思います。

④ **指導助言者の進行により、質疑応答や事例の補足説明、協議** 15:50～17:00

【第4分科会 報告】

指導助言者： 今村 隆信

春日市立春日西小学校 校長



昭和25年、福岡県生まれ。小学校教員を経て、昭和50年福岡県立社会教育総合センター社会教育主事。昭和62年県教育庁指導第二部社会教育課社会教育主事。平成5年同義務教育課指導主事。平成6年国立教育会館社会教育研修所主任研修指導主事。平成11年より福岡県立社会教育総合センター参事。平成14年より、春日市立春日北小学校校長。平成17年より現職。福岡の社会教育、生涯学習の仕掛け人であり、春日市の子ども会育成連絡協議会副会長としても活躍中。

